

授業科目	*初年次セミナーⅡ(Aクラス)				単位	1		
履修	必修	関連資格			ナンバリング	TO10202J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP3-1 DP4-1 DP5-1			
担当教員	角谷 尚久、木村 政伸							
授業概要	<p>大学は、学生自らが目的をもって主体的に学ぶ場であり、基礎的な知識の上に、着想力、論理性、表現力、独創性などの力が求められる。これらの力を獲得するためには、ただ単に基礎的な知識を効率よく覚えるということではなく、自らが積極的に課題を探求し、自ら学びの質を高める姿勢をもたなければならない。</p> <p>初年次セミナーⅡでは、初年次セミナーⅠの学びを基礎として、個人あるいはグループでの学習活動を軸に、大学で学ぶためのスタディ・スキルズ『発表する』『討論する』を強化し、より一層、主体的かつ能動的学習を展開する。『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』の強化ならびに定着を図り、さらにプレゼンテーションに発展させる。また、グループ内での討論を通して、物事を多面的・多角的に捉えて思考する力を身につけ、それらの考えを相手に伝える力を身につける。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 主体的に学ぶためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』をさらに鍛錬・強化し、『発表する』『討論する』に展開できる。(DP1-1)</li> <li>2. グループ内での人的交流を通して、自己および他者を理解することができる。(DP3-1)</li> <li>3. 他者の考えと自分の考えを比較し、物事を多面的、多角的に捉えることができる。(DP3-1)</li> <li>4. グループ学習において、自らの役割を自覚し、責任をもって協同行動ができる。(DP3-1)</li> <li>5. 自らの行動変容の必要性に気づき、修正へと繋げることができる。(DP4-1)</li> <li>6. 学習成果を相手に分かりやすく伝えることができる。(DP5-1)</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	10	55	35	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)		10	40				50	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			10	10			20	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)				15			15	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)			5	10			15	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
学生が達成すべき行動目標を達成することができ、主体的に課題を探求し、積極的に提案・行動する姿勢がみられる。				学生が達成すべき行動目標を達成することができる。				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	初年次セミナーⅠから初年次セミナーⅡに向けて	合同講義	該当授業の復習	30
2	研究倫理 (研究倫理委員)	合同講義	該当授業の復習	30
3	テーマ:基本スキル編1 レポート・論文の構成を学ぶ。	講義 ワークショップ	該当授業の復習	30
4	テーマ:基本スキル編2 読解力・要約力を学ぶ。	講義 ワークショップ	該当授業の復習	30
5	テーマ:基本スキル編3 批判的思考力、表現力を学ぶ。	講義 ワークショップ	該当授業の復習	30
6	基礎スキル編(書く力)1	講義 ワークショップ	該当授業の復習	30
7	基礎スキル編(書く力)2	講義 ワークショップ	該当授業の復習	30
8	基礎スキル編(書く力)3	講義 ワークショップ	該当授業の復習	30
9	スキルアップ編(1)	講義 ワークショップ	該当授業の復習	30
10	スキルアップ編(2) 論文・レポート提出	講義 ワークショップ	該当授業の復習	30
11	スキルアップ編(3)	講義 ワークショップ	該当授業の復習	30
12	グループワーク(理解を深める。新聞を活用したプレゼンテーション)1	講義 ワークショップ	該当授業の復習	30
13	グループワーク(理解を深める。新聞を活用したプレゼンテーション)2	講義 ワークショップ	該当授業の復習	30
14	プレゼンテーション	講義 ワークショップ	該当授業の復習	30
15	纏め	講義	該当授業の復習	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	初年次セミナーⅠで学んだことを復習しておく。			
テキスト	四月に担当者が伝えます。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「新聞(朝日、読売等)をできれば、読み比べてみましょう。キャンパスで利用できる図書館のデータベースの利用の仕方に慣れるように使ってみます。図書館には本、雑誌以外にいろいろなモノ、サービスがあります。それを活用できるようにしましょう。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	新聞・雑誌、書物等を読み、まずは母語である日本語の理解と表現方法を深めておくことが第一歩になります。			
達成度評価に関するコメント	正確な日本語が読める、書ける、論理的な話ができるように毎日取り組んでいくことが評価の対象になります。			

